

女性研究者研究活動支援事業（連携型）

（実施期間：平成 26～28 年度）

代表機関：神戸大学（総括責任者：武田 廣）

共同実施機関：関西学院大学、兵庫県立大学

プロジェクトの概要

(1) 体制及び活動内容

大学トップから実務レベルまでの緊密な 3 大学連絡会議による実施体制の構築を行う。「連携型共同研究」での P I 経験、外部資金獲得支援、英語プレゼン力向上支援等の研究力増強策による上位職階登用支援と女性研究者昇任状況調査による実行担保を行う。研究支援員の配置、人材バンク、子育て支援と柔軟な働き方の拡充によるワーク・ライフ・バランス支援を実施する。キャリアカフェ開催によるキャリアパス支援を実施する。

(2) 各機関の役割分担や連携協力体制

代表機関に配置したコーディネーターが事業全体を指揮する。代表機関は共同実施機関と緊密に連絡し、「連携型共同研究」等の諸事業を運営。共同実施機関は出向した実務者を得て、遅延なく事業に取り組む。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	b	a	b	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

国立・公立・私立と設置形態の異なる兵庫県内の 3 大学が連携し高い目標を掲げ、「3 大学学長会議」、「3 大学連携会議」等を定期的で開催し 3 大学執行部が密接に協議し、女性研究者の採用、養成に取り組むことにより、相乗効果を及ぼしつつ一定の成果を上げたことは評価できる。特に、女性研究者の上位職階への昇任比率が、2 共同実施機関で目標を大幅に上回り上昇したことは評価できる。今後は、代表機関自ら女性研究者の昇任比率、採用比率、在籍比率を上昇させ、所期の目標を達成するとともに、さらなるリーダーシップを発揮することにより、3 大学連携の取組を「大学コンソーシアムひょうご神戸」へ着実に展開させることを期待する。

- **目標達成度**：PI となる女性研究者数、女性研究者の離職者数半減等の目標は達成した。しかしながら、女性研究者の採用比率 30%、在籍比率 20%以上の目標はいずれも達成できておらず、上位職階への女性研究者の昇任比率 20%以上の目標も共同実施機関においては達成できているにもかかわらず代表機関では達成できていない。未達の目標を着実に達成するために、現状分析を的確に行うことが求められる。
- **取組**：女性研究者を PI とする連携型共同研究の支援、「産学連携フォーラム」の開催、「プロモーションメンター」の配置、研究スキルアップ支援、「ティーチングスキルアップ支援」、自

然科学系部局における教員の女性限定公募の実施等の様々な取組を連携機関が共同して実施し、女性研究者の研究力強化、女子学生のキャリアパス支援に繋げており評価できる。今後は、検討段階に留まった、病児・病後児保育支援にも積極的に取り組むことを期待する。

- **取組の成果**：優れた女性PIの選定とスタートアップ経費の支給、「プロモーションメンター」や研究メンターの配置等の「連携型共同研究支援」により女性研究者の研究力強化が図られ、22名のPIの内6名が昇任する結果に繋がったことは評価できる。しかしながら、連携機関全体としての女性研究者採用比率は減少傾向にあり、取組の成果が十分とは言い難い。今後の戦略的な取組の展開を期待する。
- **実施体制**：「3大学学長会議」、「3大学連絡会議」を定期的で開催し、連携機関の学長、理事・副学長が直接意見交換を行って事業を推進したことは評価できる。また、「大学コンソーシアムひょうご神戸」との連携、産学連携フォーラムの開催等、地域の大学、研究機関、企業を巻き込んだ連携体制となっていることは評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後も、すべての連携機関が自主経費により予算を確保し取組を継続しており評価できる。今後、本事業で効果を上げた取組について、「大学コンソーシアムひょうご神戸」に、着実に展開させ、そこをプラットフォームとして兵庫県全域へと普及を図ることを期待する。